

大塚徳勝 著

「知らないと怖い環境問題」

推薦文

著者は5年前に、日本図書館協会の選定図書にも選ばれた、「知っておきたい環境問題」を発売している。今回発売された本は、前著の改訂改題版となっているが、その後の環境問題の深刻化を反映して、データも図表も一新された最新作である。図表の数もイラストの数も、かなり増えて読みやすい。

本書は、複雑多岐にわたる環境問題を、大気圏と水圏と地圏に大別し、次の①～⑧のように、地球の縦方向に沿って8項目(章)に分けて整理し、豊富な資料をふんだんに使って、中高校生や主婦にも分かるように、やさしく解説している。

- ①CO<sub>2</sub>による地球の温暖化
- ②フロンによるオゾン層の破壊
- ③大気汚染と酸性雨
- ④海、河川、湖沼の汚染・汚濁
- ⑤地下水の汚染
- ⑥土壌汚染、環境ホルモン
- ⑦森林破壊、砂漠化、生物種の激減
- ⑧ゴミ処理問題

各章とも、「この地球環境をドゲンカセントイカン！」という、著者の熱い思いが伝わってくる。著者によれば、10数年後に行き詰まる問題が、「ゴミ処理問題」で、今世紀の中頃に深刻化するのが、「温暖化の問題」である。そのため、紙数も両問題に、それぞれ1/4ずつ当てられている。

特に、最終章の「温暖化」の章では、温暖化防止の問題をエネルギー源の選択の問題としてとらえて、科学的側面と社会科学的側面から詳述し、今後のエネルギー源の選択の仕方が、文明のあり方を決定すると述べている。

環境問題の全容を知る上で、最適の入門書として薦めたい1冊である。

熊本県中小企業家同友会  
副代表理事 山本友晴